

東海

2022年度 第1号

東海大学山形高等学校 学校報

発行日 2022年4月29日

発行 東海大学山形高等学校 広報委員会

〒990-2339 山形市成沢西 3-4-5

TEL (023) 688-3022

FAX (023) 688-3023

ホームページURL <https://www.ymgt-tokai.ed.jp/>

平和への思いを新たに

校長 岡田恵子

春は、別れの季節でも出会いの季節でもあります。大雪の冬がすっかり遠のいた頃、巣立ちゆく3年生を送りました。そして桜便りの頃、新しい1年生を迎えました。今年の新入生307名と、どんな高校生活を送ることができるのか楽しみです。

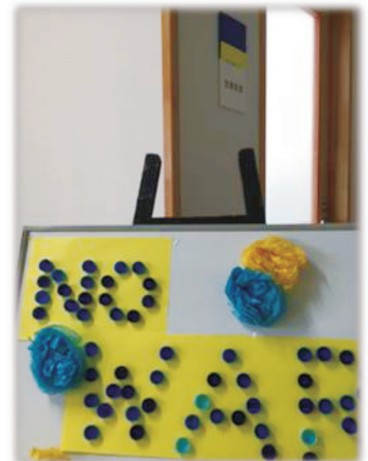
この春から18才が成人となりました。巣立った3年生は全員、在学中の新3年生も4月中には16名が成人となります。18才になれば、保護者の同意なく可能になる事がいくつも生じます。これだけの責任を負える人格に達していることが望まれると思うと、なんだか大人になることを急ぎ立てられているようにも感じてしまいます。

一方、世界に目を向けると、圧倒的に多いのが「18才成人」の国。これまでの「20才成人」は、極めて少数派でした。この18才という年が大きな意味を持つのだと痛感することになったのは、ロシアのウクライナ侵攻の時でした。ウクライナから国外に避難できるのは、女性と、18才～60才までを除く男性。国境近くで、幼い子を妻に託し離れ離れになる夫の様子や、泣きじゃくりながらお父さんと離れる子供の姿は、何度もニュースで取り上げられました。「18歳成人」の意味することの重さを感じながらニュースを眺めていたのは3月初旬、2月24日に突然ロシアがウクライナに侵攻して間もなくの時期でした。

あれからまもなく2ヶ月の月日が経過しようとする中、終結の気配が見えません。この戦争の勃発を聞いた時、「これは21世紀の事なのだろうか？」と思ったのは私だけではないはずです。この思いの裏には「20世紀のあれだけ大きな戦争に何も学ばなかったというの？」という意味が込められているのは当然です。世界は過去に学んだのでしょうか？

心が苦しくなるような映像を見て、できることを探し始めたのは生徒会執行部です。本校では平和教育に力を注いでおり、昨年11月には新型コロナウイルス感染者数が減ってきた時期に重なり、何とかヒロシマへの修学旅行を実施することができました。平和祈念資料館や原爆ドームで核戦争の惨状を目にして、心に迫るものがあったようです。「戦争は絶対にだめ、核などともない」という思いを強くした生徒達が、何ができるかを考えた時に、まずは学ぶことを選びました。何がこの事態を引き起こしているのか、問い続ける事になりました。被害が明らかになるにつれて、目をそむけたくなくなるような情報が続いています。生徒達にはしっかり見据えて、こんなことにはならない未来を目指してもらいたいものです。

高等学校は、自分の未来像を描いてその実現を目指す場です。同時に、未来の社会を委ねる若者達を育む場であることを心に刻み、また一步新しい年度に向かおうと思います。



(生徒会室前廊下)

入学式が挙行されました

4月7日(木)に、第45回入学式が本校第一体育館で行われました。

真新しい制服に身を包んだ307名の新入生は、各担任から名前を呼ばれると、それぞれ元気な返事で応え、岡田恵子校長から入学を許可されました。また、新入生代表の佐藤愛菜さん(山形三中)から、新しく始まる本校での生活に向け、希望にあふれた「誓いのことば」が力強く述べられました。

コロナ禍における配慮から、保護者の方は各家庭1名のみとさせていただき、クラス開きも時間を短縮したものでしたが、本校への仲間入りを果たした新入生たちは、これから始まる学園生活への気持ちを新たにしました。



ご入学おめでとうございます

第1学年主任 五十嵐 直史

ご入学、誠におめでとうございます。4月7日、温かな春の陽気に包まれて、307名の新入生が「東海生」としての第一歩を踏み出しました。皆さんの門出を心から祝福します。

期待と不安が入り混じった緊張した面持ちの入学式でしたが、日増しにクラスには笑顔の輪が広がっています。この学び舎で出会う多くの友との縁を大切に、勉強や部活動、それぞれの目標達成に向けて互いに切磋琢磨しながら、お互いを高め合ってほしいと思います。

スタート地点に立ったばかりの皆さんですが、高校3年間はあっという間に過ぎ去ってしまうものです。一日一日を貴重なものとして、いかに充実させるかを意識して過ごすことが大事です。その密度の濃さが自分を成長させていくはずですよ。「なりたい自分」をイメージし、そこに近づく努力を今日から始めましょう。皆さんの可能性は無限大です。

3年後に、皆さんが誇らしく成長した姿で未来へ羽ばたいていけるよう、我々も学年団として精一杯支えていくつもりです。



新年度を迎えて - 2年生スタート! 第2学年主任 中村 典子

2022年度、新2年生は284名でのスタートとなりました。クラス替えになり、縁あって同じ時間、空間を共にすることになった仲間と新たな生活を始めています。

「2年生」というのは、高校生活の要の学年。部活動でも学校行事でも中心的な立場になります。また、進路を決定付けるのも、実はこの学年での過ごし方次第と言えます。皆さんの先輩方が過ごしてきた高校2年生の時期を思い返してみると、時々失敗することはあっても、1年生で経験したことが基盤となって、いろいろなことを考え、たくさんもがいていたように思います。楽しいことも、大変なこともひっくるめて、「2年生」の1年間が大変貴重な期間となっていたようです。“あのとき〇〇をしていたら、3年生の生活や卒業後の進路は違っていたかも・・・”などと話していた卒業生もいました。それだけ高校生活2年目は、重要な意味を持っているということだと考えます。皆さんには、悔いのないように、良い形で3年生へつながるように、そして、卒業後の目標が達成できるように、今日から始まる2年生としての1年間を大切に過ごしてください。



新型コロナウイルス感染症によって、まだ日常生活が制限される場面がありますが、時期が遅れることなく新年度のスタートを切ることができたことに感謝したいと思います。

皆さんに平等に与えられた時間を決して無駄にすることなく、2年後に堂々と胸を張って「完全燃焼、悔いなし!」と言えるように、精一杯これからの毎日を過ごしてください。

新年度を迎えて 第3学年主任 今野 美佐子

新3年生のみなさん、いよいよ、最終学年が始まります。これまでの2年間はゆっくりと時間が流れていたかと思いますが、これからの1年間は、自分の人生に大きく関わる年、勝負の年となり、時が経つのが早く感じられるかと思えます。

2年前の通信にも書かせてもらいましたが、「自分を大切に、そして周りにも大切にすること」をどんな時も忘れず、新しい出会いを大事にしながら、周りにも大切な友達・仲間と支え合い、助け合って、最終学年として、高校最後の様々な学校行事を全力で取り組んで、楽しんでください。改めて、高校3年間で身に付けてほしいことを確認します。

①確かな学力 ②基本的なマナー ③コミュニケーション能力 ④責任感の4つです。昨年度、経験し身につけたことの上に、どう積み上げていくことができるか。今年度は、自分の進路を決定しなければならない大事な年でもありますので、初心を忘れずに、もっと高みへという向上心や好奇心を持つ人間になりましょう。皆さんの心・気持ちの持ち方次第だと思えます。変化の激しい社会に対応できる力をつけていきましょう。今なお、世界中で新型コロナウイルスが猛威を振るっています。山形県内の感染者も毎日のように100名以上出ており、大変な状況です。日々の生活において、マスクを着用し、三密を避ける行動を守り生活していきましょう。



2021年度 年間皆勤賞 (旧学年・旧クラスで紹介)

前年度の年間皆勤賞は、旧1学年67名、旧2学年58名が受賞しました。

【旧1学年】67名

島貫 樹莉音 (1-1 高森中)	服部 楓菜 (1-1 中山中)	本間 妃音 (1-1 山辺中)	松浦 実咲 (1-1 宮内中)	赤城 風翔 (1-1 山形十中)	井上 瑠華 (1-1 山形三中)
尾形 宗太郎 (1-1 宮川中)	佐藤 隆太 (1-1 山形一中)	須藤 大晴 (1-1 山形三中)	関岡 祐賢 (1-1 山形一中)	横山 颯人 (1-1 西川中)	吉田 航大 (1-1 上山南中)
稲村 実紅 (1-2 山形十中)	江部 葵 (1-2 米沢四中)	小松 香穂 (1-2 山形七中)	鈴木 真陽路 (1-2 山形九中)	高橋 和 (1-2 山形十中)	太田 暖人 (1-2 山形九中)
佐藤 宙夢 (1-2 山形六中)	高橋 一真 (1-2 河北中)	岡野 朔真 (1-2 篠山中)	野川 凌平 (1-2 天童一中)	樋口 史季 (1-2 白鷹中)	菊地 梨紗 (1-3 山形十中)
太田 鳳介 (1-3 上山北中)	小坂 翔真 (1-3 山形九中)	小林 健琉 (1-3 山形四中)	鈴木 貫太 (1-3 天童一中)	川口 恵奈 (1-4 山形十中)	西田 桃花 (1-4 山形十中)
横山 詩乃 (1-4 山形四中)	大風 翼 (1-4 山形十中)	岡崎 竜也 (1-4 蔵王一中)	佐野 寛亮 (1-4 赤湯中)	鈴木 晴大 (1-4 上山南中)	高橋 大二郎 (1-4 山形三中)
辻 寛太郎 (1-4 和泉石尾中)	森谷 心 (1-5 山形九中)	亀井 莉武 (1-5 天童一中)	中村 祥 (1-5 山形六中)	桃園 幹大 (1-5 天童一中)	稲垣 彩乃 (1-6 山形十中)
柿本 梨瑠 (1-6 山形六中)	毛屋 優花 (1-6 山形五中)	原田 侑果 (1-6 山形一中)	吉田 結 (1-6 神町中)	鈴木 大介 (1-6 大江中)	蛭田 颯詩 (1-6 矢吹中)
物部 豪 (1-6 岡山桑田中)	荒井 美虹 (1-7 山形九中)	齋野 苺架 (1-7 蔵王一中)	佐藤 穂の花 (1-7 山形九中)	村上 百花 (1-7 山形一中)	相馬 来威 (1-7 金井中)
高橋 遥斗 (1-7 橋岡中)	辻 ひかる (1-7 上山北中)	本間 樹真 (1-5 朝日中)	芦野 志帆 (1-8 山形四中)	狩野 詩 (1-8 山形四中)	酒井 千恵 (1-8 上山南中)
佐竹 千愛 (1-8 陵南中)	菅野 瑠菜 (1-8 尾花沢中)	石川 尚 (1-8 西川中)	高田 翔人 (1-8 白鷹中)	高橋 暖斗 (1-8 河北中)	半田 悠翔 (1-8 山形九中)
山田 琉偉 (1-8 山形三中)					

【旧2学年】58名

青柳 一心 (2-1 山辺中)	酒井 陽気 (2-1 上山北中)	田子 純成 (2-1 山形三中)	古川 景彪 (2-1 山形三中)	山内 悠 (2-1 山形十中)	山川 瑛真 (2-1 金井中)
和田 直太郎 (2-1 山形八中)	山口 優 (2-2 山形六中)	雨谷 七斗 (2-2 羽鳥中)	大浦 悠斗 (2-2 鮎川中)	鈴木 拓磨 (2-2 那須厚崎中)	滝沢 恭平 (2-2 米沢三中)
松田 楓輝 (2-2 山形六中)	大場 美佑 (2-3 山形十中)	東海林 諒 (2-3 山形一中)	村田 琉名 (2-3 天童二中)	渡邊 葵 (2-3 金井中)	岸 大輔 (2-3 山形二中)
斉藤 生純 (2-3 神町中)	佐藤 遼汰 (2-3 山形四中)	塩野 道斗 (2-3 山形六中)	山下 凌空 (2-3 山形三中)	鈴木 勇輝 (2-3 上山南中)	高橋 樹生 (2-3 山形四中)
早坂 捷 (2-3 上山北中)	井上 小雪 (2-4 上山北中)	菅野 伽琉 (2-4 宮内中)	今 思乃 (2-4 白鷹中)	半田 恵実 (2-4 白鷹中)	加藤 未来斗 (2-4 蔵王一中)
齋藤 陽 (2-4 山形六中)	白田 大和 (2-4 山形三中)	菅原 葵 (2-4 山形六中)	須藤 海大 (2-4 天童一中)	高橋 和也 (2-4 山辺中)	林 竜介 (2-4 中山中)
渡部 竣 (2-4 神町中)	秋葉 里来 (2-5 山形六中)	安達 乙稀 (2-5 宮川中)	齋藤 智哉 (2-5 葉山中)	柴田 柊 (2-5 上山北中)	高橋 要 (2-5 山形九中)
長尾 脩平 (2-5 上山南中)	長谷川 光太郎 (2-5 上山北中)	舟山 弦叶 (2-5 山辺中)	増川 知大 (2-5 河北中)	長澤 心寧 (2-6 山形九中)	山本 勘太 (2-6 香芝北中)
狩野 結衣 (2-7 山形六中)	佐藤 果恋 (2-7 山形十中)	柴田 愛果 (2-7 上山北中)	富樫 花乃 (2-7 山形六中)	江口 雄貴 (2-7 山形一中)	開沼 通海 (2-7 山形八中)
小西 翼 (2-7 高橋中)	佐藤 慶太 (2-7 町田南大谷中)	武田 衣理 (2-8 蔵王一中)	阿部 真人 (2-8 蔵王一中)		

新任教員紹介

今春より本校に勤務する9名の教職員を紹介します。



渡辺 佳先生 [英語]

今年度からお世話になることになりました。担当する科目は英語、担当する部活動は空手道になります。英語を苦手と感じている皆さんには少しでも好きになってもらえるよう、得意と感じている皆さんにはさらにその力を伸ばしてあげられるような指導を心掛けていきます。学年や部活の垣根を超え、多くの生徒のみなさんと関わっていききたいなと思いますので、気軽に声をかけてください。待っています！



横山哲夫先生 [理科]

3.11の震災半年前、私は仙台市荒浜で撮影していました。半年ずれていたら自分が被災したかもしれない。その時から、自分は今生かされているんじゃないかと考えるようになりました。生かされている今を一杯に生きる！！ 今日頑張ります。



辻 徹先生 [理科]

1年生の3クラスに生物基礎を受け持つことになりました。生徒の皆さんが生まれて以降も地球環境は悪化の一途です。戦争があります。戦争が最大の環境破壊だともいわれます。環境のことヒト以外の生命にも気づかえるような平和の心を持ちたいものです。



清野春樹先生 [地歴・公民]

3年ぶりの東海大学山形高校の教壇です。3年生の一部のクラスの地理Aを担当します。暗いニュースも交えますが、できるだけ明るい希望をすくいあげましょう。最終的には君たちの生きる力を伸ばすのが狙いです。よろしくお祈りします。



菅藤俊一郎先生 [地歴・公民]

「君がため 捨つる命は 惜しまねど 心のかかる 国の行く末 (坂本龍馬)」おおまかに訳すと「君のために命を捨てることは、全然惜しまないが、それにしてもこの国(日本)の将来が気にかかる」。東海山形高の皆さんの元気のいいあいさつを聞くと、この国も心配ないなと思います。元気のいいあいさつや目の輝きは大切です。今年度、東根市から27.5km通います。頑張ります。



和泉一彦先生 [国語]

「人はそれぞれ『正義』があつて / 争い合うのはしかたないのかもしれない / だけど僕の嫌いな『彼』も / 彼なりの理由があると思うんだ」 “Dragon Night” の歌詞ですね。平易な話し言葉だけれど、価値ある深い「意味」が込められています。生徒のみなさんと、もう一度「言葉の豊かさ」を学びたくって学校に戻ってきました。よろしくお祈りします。



青木智一先生 [数学]

1年生の数学I・Aを担当することになりました。高校生のみなさんと学習できることにワクワクしています。初めてのクラスでは、温かく迎えてもらい感謝しています。校内が明るい雰囲気で大変好きになりました。数学では、できるようになることで、どんどん楽しくなります。進歩を実感できる教科です。一緒に成長していきましょう。よろしくお祈りいたします。



東海林由美子先生 [英語]

九州の大分県大分市出身です。皆さんと英語の授業を通して、一緒に成長させていただけることに感謝しています。英語上達の秘訣は筋トレと同じです。毎日のトレーニングが大切です。私の大好きなイチローさんも、「自分は天才ではないが、努力できるという点なら天才だ。」と現役時代に言っていました。私もそう在りたいです。



後藤ひろみ先生 [養護]

今年度、保健室でお世話になることになりました。学校生活を通して生徒のみなさんと喜びや感動を分かち合い、充実した一年間を送れるようにサポートできたらうれしく思います。どうぞよろしくお祈り致します。



編集後記

入学式を終え、いよいよ新年度がスタートしました。そして、新入生と新2年生にはiPadが配布され、iPadを用いた新しい授業が展開されます。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、ICT教育の重要性を認識した昨年度。今年度も収束する気配が見えず、より質の高い教育を生徒に提供するためにもICTの活用法を模索する1年になりそうです。